

(1)

公益財団法人 藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター



もやいとは、人と人をつなぎ付けること(共働・共助)

第226号



2022年(令和4年)5月発行
(公財)藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター
藤沢市鶴沼神明1丁目3番18号
藤沢市生きがい福祉センター内
電話 0466(27)1100

尾瀬(群馬県片品村)



渡邊義典



4月1日付で公益財団法人藤沢市まちづくり協会の理事長に就任いたしました藤村勝己です。

会員の皆様には、日頃から当協会の事業に對しご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本の将来推計人口によれば、2025年に、団塊の世代が75歳以上となり、4人に1人が後期高齢者となる社会の到来が控えています。

急速な高齢化と合わせ少子化の進展によって、全国的に就業人口の減少が課題となる中、今まで以上に高齢者の活躍が望まれています。

このような中、当協会が行うシルバー人材センター事業は高齢者に就業の場を提供し、生きがいづくりや社会参加を推進する役目を担っています。

また、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指し、障がい者等の生きがいづくりや社会参加の推進を図る場として生きがい就労センター事業にも取り組んでいます。

当協会は、今後も会員の皆様の安全、安心の確保並びに更なる就業機会の開拓を最優先とし、一丸となって取り組んでまいります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

令和4年度シルバー人材センター・ 生きがい就労センター事業計画の概要

●シルバー人材センター事業

藤沢市の60歳以上の人口は、2022年(令和4年)3月1日現在で119,109人、藤沢市の人口全体(442,845人)における割合は26.8%に達し、超高齢化社会の渦中にありますが、仕事を継続したい、社会参加をしたいなど意欲の高い方々の多様なニーズに応じ、日常生活に密着した仕事の機会を確保・提供するシルバー人材センターへの期待は高まる一方です。

シルバー人材センターにおいては、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、適正就業の推進に向けたシルバー人材センター運営委員会の活動や新たな受注の開拓を目的の一つとしている職業開拓コーディネート活動及びホームページを軸とした啓発活動等を通じ、安全・適正な就業機会の確保・提供及び開拓に努めることで、会員皆様の生きがいの充実、社会参加の促進に結び付けるとともに地域社会の活性化に貢献します。合わせて新規事業として、藤沢



植木剪定講習

市の「介護予防・日常生活支援総合事業」における「訪問型サービスA」に取り組みことも決まっております、更なる「働く場所」を確保・提供してまいります。

1 雇用関係によらない臨時的・短期的な就業又は軽易な業務の就業の機会を提供します。

□主な事業

施設の清掃・管理、駅前自転車整理、駐車場及び駐輪場管理、公民館等施設管理、公園清掃・管理等、除草・清

掃、植木剪定、草刈、事務補助、屋内外の清掃、屋内軽作業、障子・襖の張替え等

2 雇用関係による臨時的・短期的な就業又はその他の軽易な業務の就業の機会を提供します。

□主な事業

①職業紹介事業



訪問型サービスA従事者養成講座

高齢者の就業に関して、シルバー人材センターが紹介者となり、求人及び求職の申し込みを受けて、求人者と求職者との雇用関係を斡旋します。

②労働者派遣事業

派遣元事業主である公益社団法人神奈川県シルバー人材センター連合会との連携のもと、派遣先の指揮命令により

労働に従事する事業

3 就業に必要な知識及び技能を付与するための講習等を開催します。就業上必要な技能、知識を就業意欲のある高齢者に付与し、より広い就業分野での仕事の確保と提供を行います。

□主な事業

スキルアップ講習、接遇研修、高齢者セミナー、リーダー講習など

4 事業を推進するための諸活動並びに社会参加活動を推進するための諸活動を行います。

□主な事業

普及啓発事業、安全・適正就業の推進事業、シルバー人材センター運営委員会の運営、調査研究事業、就業分野の開拓・拡大事業、相談事業、社会参加推進事業

●生きがい就労センター事業

藤沢市における障がい者等が日々活動できる「社会生活の場所」の一端を担う重要な役割を踏まえ、確実な仕事の機会を提供することを旨とし、シルバー人材センターとも協調した中で、新たな仕事の獲得及び受注の継続に努めることで、施設の役割・意識を高められるよう努めます。また、洋裁・和裁等の専門的



技能講習会（障がい者・藍染体験）

な職種においても、防災ずきんや袋物の受注などのオリジナル商品の生産性・品質向上及び会員の発掘・拡大にも結び付けることを狙いとした、工業用ミシンを使用するなどした技能講習会を実施します。

□主な事業

- ① 請負又は委任による事業
 - 部品の組み立て、配布物の封入・封かん、箱詰め、洋裁、筆耕等の軽作業
 - ② 自主製作事業
 - デコパージュ石鹸やエプロン等を自主製作し、公民館まつり等の各種イベントにおいて展示及び販売を行う。
- 2 就業分野の拡大並びに社会参加活動を推進する事業を行います。

□主な事業

普及啓発事業、安全・適正就業の推進事業、調査研究事業、就業分野の開拓・拡大事業、相談事業、技能研修等、社会参加活動推進事業、公益目的事業の活動拠点の管理運営



技能講習会（女性・エコバッグ製作）

以上が令和4年度の事業計画の概要ですが、未だ終息の心配を見せないコロナ禍において、事業の影響は少なくありません。令和4年度においても、着実な事業の推進や新しいライフスタイルへの適用など、シルバー人材センター及び生きがい就労センターが乗り越える壁はまだ高いところがありますが、会員の皆様と協力し合い、両事業の更なる発展に邁進してまいります。

公益財団法人藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター

令和4年度事務局の執行体制

センター長 田中 雄一
センター長補佐 田中 崇之

【総務担当】

予算・決算事務、請負金請求・収納事務、配分金支払い事務等

上級主査 山口 みさ
主事 石崎 彩香
常勤嘱託 萩原 早苗
臨時職員 藤巻 澄江・長谷 美幸

シルバー人材センター

【公共担当】

公園管理、駅前自転車等整理業務、公民館等の施設管理、施設の清掃、駐車場、駐輪場、大庭台墓園等

主任 伊沢 勇祐
主事 谷澤 義人
非常勤嘱託 杉山 哲己・前田 弁榮
宮武 重信・小川 晶
稲垣 一彦

【企業担当】

民間企業等からの受託事務全般、労働者派遣事業、ハローワークとの調整等
就業相談会の開催

主事 武井 佑太
常勤嘱託 柿崎 貴美子
信田 英雄

【個人担当】

個人からの受託事業全般（除草・清掃・植木・草刈）空き家対策事業全般、入会説明会の開催

上級主査 渥美 比呂子
常勤嘱託 宮路 修武
非常勤嘱託 若生 直子
臨時職員 真田 理恵・西脇 佳子

【分室】

藤沢市北部地域における受託業務全般
入会説明会の開催

分室長（兼務） 田中 崇之
主事 森 大二郎
非常勤嘱託 田代 富二夫
臨時職員 二見 さおり
飯田 修一

【自転車等駐車場管理事務所】

藤沢市内の市営有料駐輪場業務全般

所長 石井 哲也
所長補佐（兼務） 田中 崇之
上級主査 山下 隆治
主任 辻川 貴行
非常勤嘱託 遠藤 主計
小野 清
石倉 隆広

生きがい就労センター

障がい者会員等における、地方公共団体、民間企業、個人等からの受託事務全般、会員対応等

【障がい者担当】
上級主査 栗城 武
常勤嘱託 高木 鮎子
非常勤嘱託 標 由次

【女性担当】

上級主査 山口 直美
臨時職員 中村 弘子



会員の活動紹介

第137回 史跡歩き同好会

山本 伸哉

二宮の史跡歩きは二回目になります。

今回は「せせらぎ公園」に行く事にしました。

二宮駅下車、県道秦野二宮線を秦野方面に向って行きます。

「せせらぎ公園」まで約2キロのコースでまだ肌寒い季節でしたが、その公園はアヤマやハナシヨウブが咲く自然いっぱいの水を生かした公園です。目的に向う途中、県道からそれて川沿いの路を歩くことにしました。

中里口から三十メートル位に「萬年堰」と書いてある橋を渡り、川上に向ってさらに歩くと川沿いの古木の桜並木が一五〇メートル続いて春になるときっと美しく見ることが出来るのでないかとみんなで想像しながら「せせらぎ公園」に向いました。この公園は秋には紅葉も見られるとのこと。そこで

昼食をすませ、公園内をゆっくり散策しながら季節が花はみられませんでした。又機会があれば春頃行ってもよい公園でした。

令和4年1月31日記

史跡歩き同好会 募集と連絡先
電話 23-5632 山本 伸哉

川柳・五行歌通信

若林 琢磨

さわやかな季節となりました。しかし、最近の四季は春が短く、夏長く、秋が短く、冬長し。そんな感があります。

☆松尾芭蕉の名句、堪能しましたでしょうか。実は私、芭蕉よりも小林一茶の方が好きなんです。(バシヨウさんごめんさい)

名月を取ってくれろとなく子哉…他子供や日常を読んだ名句が多いのです。

☆川柳を初めて早や二十年になります。全く上達しません(汗)でも、作句の大好きな集まりです。

☆さあ、口腔運動をしましょう。

作・北原白秋

あめんぼ赤いなア・イ・ウ・エ・オ
ウキモに小えびも泳いでる

柿の木栗の木カ・キ・ク・ケ・コ

キツキこつこつ枯れけやき

ササゲに酔をかけサ・シ・ス・セ・ソ
☆なんともユニークな、あさこことイモトのお話し

あさこ『イモト、花鳥風月という言葉があるだろう。人は花

を見て、鳥のさえずりを聞いて、風を感じて、最後に月を見て死んでいくんだ』

イモト『ちなみにあさこさんは、どこまでできているんですか』

あさこ『月見てる』

イモトアヤコ著「柵からつぶ貝」より
引用・文藝春秋

なお、当同好会にご参加の方は、左記の森本、若林までご連絡ください。

川柳同好会

句題「青春」

青春を取り戻そうと振り向かず
惚れた道行けば会えると薄化粧
手をつなぎ東映三本日が暮れて
青春を競輪競馬おけら道
巨人戦恋人よりもカープ女子
光陰が早く青春追いつけず
ときめいて青春時代いつまでも
ひらめきが若さ邪魔する吟行会

《新之助》

《しのすけ》

《裕助》

《ゆうすけ》

《太郎》

《たろう》

《次郎》

《ゆうすけ》

五行歌

東京大空襲慰霊碑前
百万回叫んでも
十万の命は帰つて来ない
隅田川を流るる花筏に
メッセージを託すのみ

次郎

選者

森本 生雄 43-0023
若林 琢磨 81-1407

お嫁さん

嫁いだ家に

染まるのは

三〇年はかゝるとか

云われてみれば私も…

もも子

若い日に

えがいた夢は

やはり夢

ホップステップ

までの恋

生雄

(皆様からの旅行記等記事を募集中です!!)